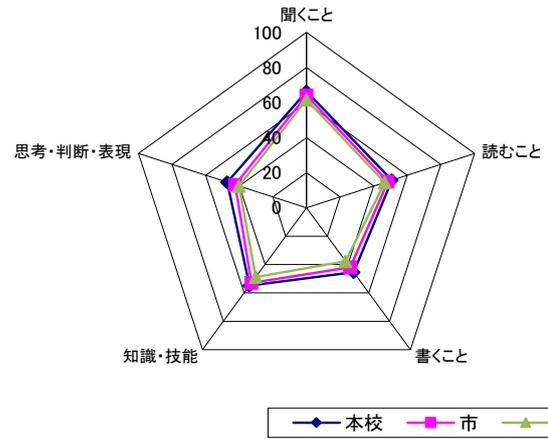


# 宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【英語】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	聞くこと	66.3	64.0	61.6
	読むこと	50.8	48.4	46.6
	書くこと	45.4	42.0	37.8
観点	知識・技能	54.8	52.9	48.9
	思考・判断・表現	47.1	42.4	40.1



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	<p>○平均正答率は66.3%と県の平均を4.7ポイント上回った。</p> <p>○英文の要点を聞き取る問題では、県の平均を大きく上回った。</p> <p>●対話文を聞き適切に応答する問題では、県の平均を5.2ポイント下回るものもあった。</p>	<p>・ウォームアップとして、継続的にスモールトークを取り入れ、リスニング能力の向上に取り組む。</p> <p>・T.Tの利点を生かし、授業中に教師同士(ALTとJTEもしくはJTE同士)の会話を聞かせる機会を作り、自然な対話に慣れさせる。</p>
読むこと	<p>○平均正答率は50.8%と県の平均を4.2ポイント上回った。</p> <p>○表(市民祭りのチラシ)と英語による意見文とを照らし合わせ、自分が置かれた状況から判断して適切な選択肢を選ぶ問題では、県の平均を上回った。</p> <p>●短い文章から概要を読み取り、正しい選択肢を選ぶ問題(ふさわしいタイトルをつける問題)では、県の平均を下回った。</p>	<p>・教科書のRead and Thinkの読ませ方を工夫する。例えば、一文ずつの意味を説明する前に、QandAで概要をつかませたり、ふさわしいタイトルを付けたりするなどの活動を取り入れて、要点を読み取ることに慣れさせる。</p> <p>・ワークや単元テストまたは定期テストの長文問題を活用して、初めて目にする英文の概要を把握する機会を増やす。</p>
書くこと	<p>○平均正答率は45.4%と県の平均を7.6ポイント上回った。</p> <p>○英文メールから得た情報をもとに、自分の考えを整理して、まとまりのある文章を書く問題(外国の生徒の依頼に対して、自分の学校について紹介する)では県の平均を大きく上回ったが、正答率は40%以下であった。また無回答率も4分の1程度であった。</p> <p>●疑問詞+形容詞(How+many)を用いて疑問文を正確に書く問題や、助動詞(can)を用いた否定文を正確に書く問題では、県の平均を下回った。</p>	<p>・授業内での言語活動の終わりに、自分や対話した相手が発話した英文(疑問文や否定文を含む)をそのまま書かせたり、短文ではなく、まとまった文章を書く機会を与え、場面に即した英文を適切な構文や連語を用いて、自信を持って書けるようにさせる。</p>